

第 31 回 高峰カンファレンスが開催されました

公益財団法人 第一三共生命科学研究振興財団

2015 年 3 月 4 日(水)、第 31 回 高峰カンファレンス」が開催されました。
多くの大学、研究機関の研究者など、93 名の出席者を集め、会場は満席となりました。



会場の様子

本財団では毎年、生命科学研究の発展に寄与した研究者に対して、高峰記念第一三共賞を贈呈しています。

高峰カンファレンスは受賞者の業績を記念して開催され、学术交流の場を提供することで研究のさらなる振興と、若手研究者の育成を図ることを目的としています。

今回は「ヒト免疫学の展望」という総合テーマのもと、記念講演とシンポジウムが行われました。



開催の辞を述べる中山理事長

記念講演では、日本医学会長 高久 史磨先生の座長の元、今年で 12 回目となった高峰記念第一三共賞を受賞された、東京大学大学院医学系研究科内科学専攻アレルギーリウマチ学教授山本一彦先生が登壇され、「ヒト免疫学と自己免疫疾患研究」というテーマで基調講演をいただきました。



記念講演の座長を務められた日本医学会長 高久 史磨先生



高峰記念第一三共賞を受賞された、
東京大学大学院医学系研究科内科学専攻アレルギーリウマチ学教授 山本 一彦先生

引き続き行われたシンポジウムでは、慶應義塾大学 医学部 先端医科学研究所 所長の河上裕先生、独立行政法人国立精神・神経医療研究センター（現 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター）神経研究所 免疫研究部 部長の山村 隆先生、WPI 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 教授坂口 志文先生にご講演をいただきました。



「ヒト腫瘍免疫学の進歩と新たな時代を迎えたがん免疫療法」について講演される河上先生



「多発性硬化症・視神経脊髄炎の免疫病態と治療」について講演される山村先生



「ヒト制御性 T 細胞による自己免疫、癌免疫の制御」について講演される坂口先生

以上

※ 高峰カンファレンスのプログラムは[こちらから](#)ご覧頂けます。